

ランの継代培養

生物工学科3年生植物バイオテクノロジーコース5名で、ランの継代培養を行いました。ランの種子は極小で大量に採取できるため、扱いに大変苦労します。また通常の播種では発芽率が非常に悪いため、無菌播種の技術を利用し、発芽率を向上させ培養容器内で育てます。

今回は1回目（初代培養）を経て、2回目の継代培養をしました。新たに培地を更新し、培養容器内で更に大きく成長させることを目的に取り組みました。ランはカトレアとデンドロビウムです。



図1 継代培地



図2 初代培養（ラン類）

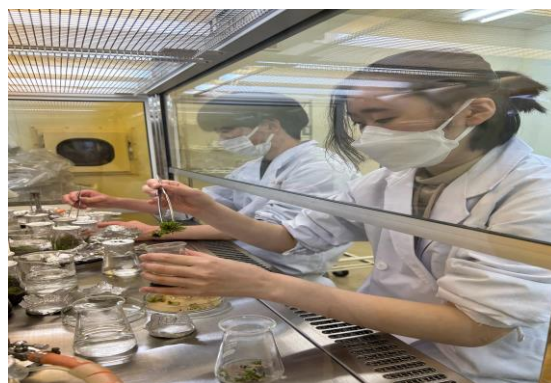


図3 無菌操作



図4 カトレアの取り出し



図5 継代培養完成